

# 関税中央分析所 (事後評価)



平成16年11月8日 国土交通省関東地方整備局

## 事業概要

# 関税中央分析所の役割

## 税関における高度な分析を行う機関

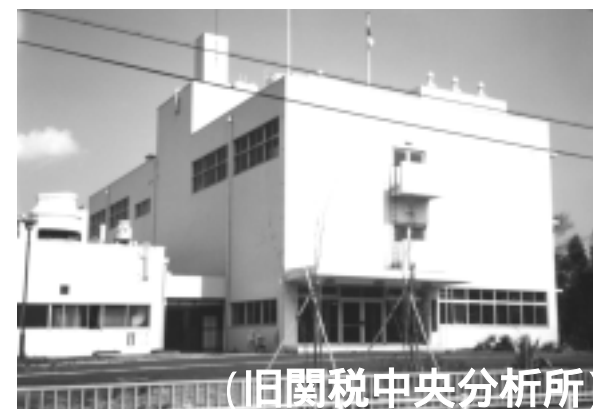
- 高度な専門知識や高性能な分析機器を必要とする分析
- 国内の税関や関税局、関税に関する国際機関「WCO (世界税関機構)」からの依頼分析
- 新しい素材や不正薬物に対応する分析法の調査・研究
- 税関の分析部門への分析技術の指導

# 旧庁舎の状況

## 関税中央分析所

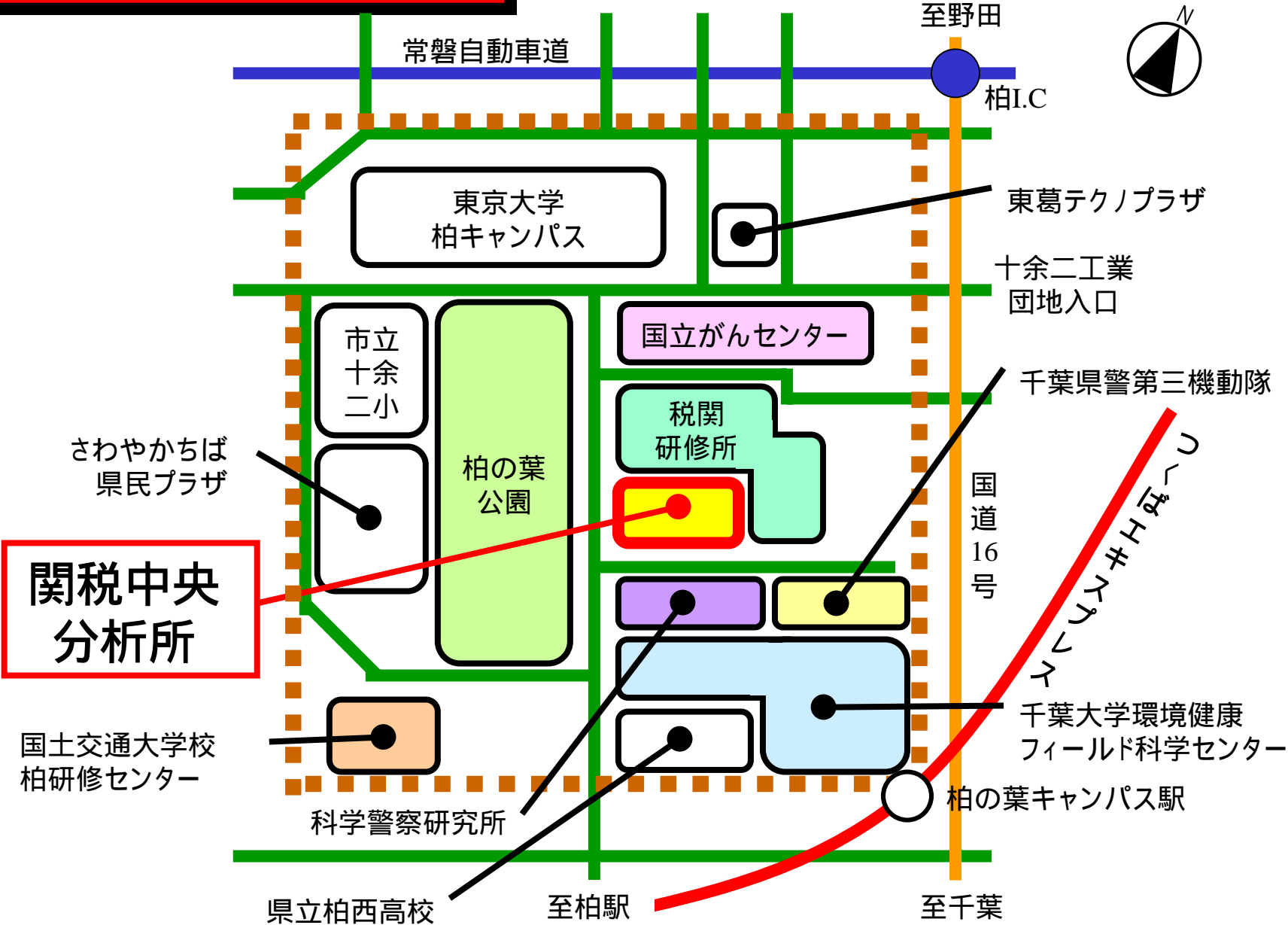
(松戸市岩瀬)

- 老朽化(S41年建築)
- 狭あい(延床3,765㎡、  
現庁舎の8割程度)



(旧関税中央分析所)

# 周辺土地利用図



## 事業概要

# 施設概要

敷地： 12,736 m<sup>2</sup>、二種住居

面積： 4,822 m<sup>2</sup>(38% / 200%)

構造： RC - 3

設計： 平成10年9月～平成12年1月

工期： 平成12年2月～平成13年6月

総事業費： 約22億円

## 計画の妥当性

# 利用者の利便性向上

	整備前		整備後
延床面積	3,765m <sup>2</sup>	→	4,822m <sup>2</sup>
分析室面積	約1,850m <sup>2</sup>	→	1,927m <sup>2</sup>
依頼分析数	整備前と比較し約2.0倍(H14 / H12)		

# 執務環境の向上

[アンケート結果] (対象:職員)

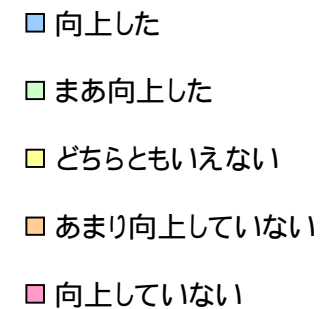
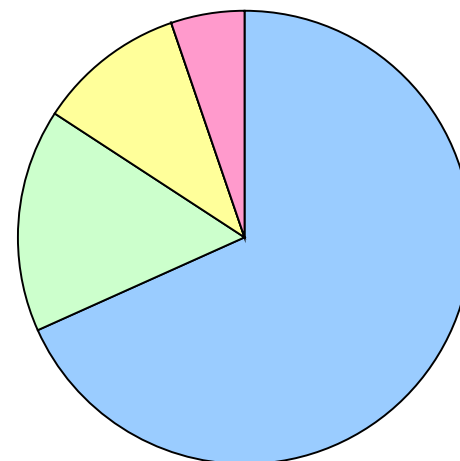
Q. 執務環境は向上したか

向上した(84%)

・執務スペースが広がった

× 向上していない(5%)

・研究棟にトイレがない



## 費用対効果

# 費用対効果

(単位:百万円)

	項目	種別	効果
効果	土地有効利用	土地処分益	679
	利用者の利便	立地の改善	28
		建物性能の向上	3,703
	安全の確保	事故・災害の縮小	357
	環境への配慮	地球環境保全への寄与	6
総効果(B)			4,716

(単位:百万円)

	項目	種別	費用
費用	初期費用	建設費	2,438
		企画・設計関係費	111
		土地取得費	2,095
	維持修繕費	_____	14
総費用(C)			4,630

$$\text{費用対効果 (B / C)} = \underline{1.01}$$